

[第 154 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 6年 9月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 6 年 10 月 5 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.192～
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2024 年 9 月 14 日(土)、第 153 回藤樹人間学塾を開きました。今回は大阪から 1 名(初参加)、京都市から 1 名、大津市から 1 名を入れて 7 名の参加でした。

■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本名著)

■ あらすじ

「集義和書」書簡の 1 武王と伯夷、三教一致、儒者の心得 を輪読し、配布資料とともに説明しました。

■ 配布資料

(1)「まなざし 472 号」、(2)世界四大宗教の共通項、(3)田口佳史「その心を尽くす者は、その性を知るなり」(致知)、(4)青山俊董「心の持ち方一つで 今ここを彼岸に」(致知)、(5)NHK 此の時代の時代 勝田茅生『ヴィクトール・フランクフル』、(6)『資本主義の次に来る世界』(AI で要約)

■ 今日のポイント

- ・武王と伯夷…孔子が手本とする周王朝を建てた武王であるが、暴虐な主君、殷の紂王を滅ぼした行為は謀反であると武王を批判した伯夷を支持する意見もある。
- ・三教一致…世界四大宗教の共通項は「大宇宙や神のような偉大な存在への畏敬」と「すべての生物が共存しなければならない」ことが挙げられる。
- ・儒者の心得…先覚者が後進の者を諭し、朋友相助け、相教えるすじみちがある。
- ・「何かに支えられて」…「自分を超越した何か」に自分が支えられていると信じていることができるならば、その人は自分の生きる意味も理解できる。(ヴィクトール・フランクフル)
- ・「資本主義の次に来る世界」…デカルトの二元論で行き詰る資本主義からスピノザの一元論へ。

■ フリートーク

- ・「歳月人を待たず。今の一瞬、一瞬を大事に生きることを心がけている」
 - ・「《大いなる存在》をさらに探求したい」
 - ・「SDGs の勉強会に参加していたが、今日の話とつながった」
 - ・「いつも内容が濃く充実している」
 - ・「本塾に初参加したが、人間力を高めるために人間学を学ぶ、いいきっかけになった」
- 等の意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

